

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和元年10月2日

①学校名:	森ノ宮医療 大学(私立)	②所在地:	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16		
③課程名:	運動器理学療法アップデート講座	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2020/4/1
⑥責任者:	理学療法学科 准教授 工藤慎太郎	⑦定員:	15名	⑧期間:	1年
⑨申請する課程の目的・概要:	医療機関等における運動器疾患に対する高度な専門的知識と技能を兼ね備えた理学療法士の養成を目指したプログラムである。本プログラムでは、運動器治療の多職種連携の中で理学療法士に求められる能力や最新の知識を得るとともに、「超音波エコーと体表解剖」や「基礎バイオメカニクスと理学療法」、「症例検討方法論」を学修し、従来の理学療法を客観的に再考することで、運動器リハビリテーションのチームの中でリーダーシップを発揮するために必要な能力を修得する。				
⑩4テーマへの該当の有無	該当無	⑪履修資格:	・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ・医療機関等においてリハビリテーション業務に従事する者		
⑫対象とする職業の種類:	医療機関における理学療法の担当者、運動器疾患のリハビリテーションに従事する者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・運動器リハビリテーションに関する知識 ・徒手療法の技術		(得られる能力) ・科学的な視点での運動器リハビリテーションを実施、指導する能力 ・体表から正確に組織を触れる能力		
⑭教育課程:	「運動器治療の多職種連携」で多職種連携の中で理学療法士に求められる能力や最新の知識を修得するとともに、「超音波エコーと体表解剖学」により、医師との連携に必要な医療画像、特に近年注目される運動器エコーの撮像について実習を通じて修得させる。さらにセラピストに必要な触診技術を高め、徒手療法を客観的に指導する。さらに「基礎バイオメカニクスと理学療法」により、セラピストに必要な動作の科学的な検証方法を身につける。また、医療現場でリーダーに求められる指導能力を養うためにも、症例検討を科学的な手法で行い、ディスカッションする能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	出席率、各科目で実施されるプレゼンテーションとレポートの合格により修了認定を行う。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	60 時間	⑱要件該当授業時数:	60時間	該当要件 企業等 双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	出席率、プレゼンテーションの内容、レポートの内容を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。卒業教育センターにおいて、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証、評価結果はホームページにて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対して、事後アンケートを実施し、その結果をフィードバックすることにより効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 連携協定提携施設と本学卒業教育センターセンター員より組織する会議において、ヒアリングすることにより、教育課程の編成に企業等の意見を反映させる。 (自己点検・評価) 連携協定提携施設の意見を反映するために、定期的にヒアリングを実施する。その後、卒業教育センター会議において意見を共有し、自己点検・評価を行い、医療機関の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	土日開講、ビデオ補講、集中講義				
㉕ホームページ:	(URL) https://www.morinomiya-u.ac.jp/after_graduation/				

事務担当者名:	村上智一	所属部署:	森ノ宮医療大学 大学経営企画室
連絡先:	(電話番号) 06-6616-6911 (E-mail) tomokazu_murakami@morinomiya-u.ac.jp		